

地下鉄短信(第6号)

平成23年11月21日発行

編集 (社) 日本地下鉄協会広報部 責任者 櫻井勝彦
電話 03-5577-5182(代) FAX 03-5577-5187

- 記事 1 民主党に対する予算要望活動
2 地下鉄現場見学会の開催

1 民主党に対する予算要望活動

日本地下鉄協会では、平成23年11月18日(金)に民主党に対し、平成24年度地下鉄事業関係予算の要望活動を行い、民主党からは池口修次民主党企業団体対策委員会委員長が、当協会からは武林理事長と福岡市の坂田交通事業管理者が出席しました。

会合では、武林理事長から「日本再生重点化措置」要望に盛り込まれた事業等の説明の後、福岡市坂田交通事業管理者から新規要望である福岡市七隈線の延伸計画についてのこれまでの経緯等の説明がありました。池口委員長からは地元の実情等についての質問等があり、今後も連携を密にしていくことになりました。

また、この後国土交通省と総務省にも要望書を提出しました。

(別途添付:「予算要望書」)

2 地下鉄現場見学会の開催

平成23年11月18日に東京急行電鉄(株)のご協力をいただき、東急東横線の地下化工事の現場見学会を開催いたしました。この東横線地下化工事は、現状、地上部を走行する代官山駅～渋谷駅間1.4kmを地下化し、東京メトロ副都心線と渋谷駅で相互直通運転をおこなうものです。この事業により、東武東上線・西武池袋線から有楽町線・副都心線を経て、東急東横線及びみなとみらい線までがひとつの路線として結ばれ、首都圏の広域的なネットワークの一つが形成されるものです。現在の工事進捗率は約8割でトンネル内では軌道工事が精力的に進められています。この現場見学会には会員各社から31名の方が参加され、代官山駅近くの東京電鉄(株)第一工事事務所内の会議室で工事概要の説明を受けた後、電車で渋谷まで移動し、渋谷駅近くの縦坑から地下部へ入り、途中で東急電鉄(株)の説明をお聞きしながらシールドトンネル部、箱型トンネル部を順次見学しました。その後、第一工事事務所に戻り質疑応答を終えた後に、懇親会参加者を除き現地解散いたしました。

第一工事事務所での概要説明



地下現場 1



地下工事現場 2



地上部



(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先： k_sakurai@jametro.or.jp

以上

予 算 要 望 書

(都市鉄道整備事業)

平成 2 3 年 1 1 月

社団法人 日本地下鉄協会

都市鉄道整備事業	18,864 百万円
・ 日本再生重点化措置	11,213 百万円
・ 平成 24 年度概算要求	7,651 百万円

地下鉄の建設、整備につきましては、日頃から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

地下鉄は、大都市圏域における交通ネットワークの主軸であり、その新設、延伸は、交通利便の増進を通じて、大都市と周辺地域の地域活性化に極めて大きな効果をもたらします。

その中で、平成 24 年度においては、福岡市七隈線の延伸事業について新規に要望するものであります。本事業は、天神、博多両地区を結ぶもので、均衡あるまちづくり推進のために不可欠なものであります。

また、地下鉄は自動車の交通量を減らし、CO₂の抑制や交通事故の減少により、安心・安全社会の実現にも寄与するところ大であります。

地下鉄のこのような効用をご理解賜り、平成 24 年度予算の都市鉄道整備事業として、18,864 百万円を確保して頂くとともに、これに対応する地方財政措置を講じて頂きますよう、特段のご配慮をお願い申し上げます。

「日本再生重点化措置」要望

1. 福岡市七隈線の延伸（新規）
2. 仙台市東西線の新設（継続）
3. 東京メトロ、東武鉄道、西武鉄道、東急電鉄が結節する小竹向原駅の立体交差化（継続）

「平成 24 年度概算要求枠」要望

- ・ ホームドアの設置、バリアフリー化の推進